

お知らせします!

# まちの行財政 2012

～安全・安心・夢のあるまちづくりの  
実現に向けて **81** 億円～

## 発行にあたって



岩手県 葛巻町長  
鈴木重男

町民の皆さまには、日ごろから町政の各分野におきまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の大災害となり、震災による大津波により多くの人命と財産が奪われ、被災した太平洋沿岸地域はもとより日本全体に大きな傷跡を残しました。

この大震災の影響により日本経済は依然として厳しい状況にありますが、緩やかながら持ち直す傾向にある一方で、欧州の財政金融危機を背景とした株価の低迷、円高による企業業績の悪化、雇用の減少など、景気後退への懸念が広がっております。

こうした中、町では、東日本大震災の経験を踏まえ、平成24年度当初予算においては、被災地の支援を進めながら防災対策をはじめ、生活・医療・定住・子育て支援、再生可能エネルギー導入など「安心して暮らせるまちづくり」のため新規事業を盛り込むとともに、農林業の振興・6次産業化の推進、中心市街地の活性化などに重点的に取り組む考えであります。

私は、町民の皆様が日々の生活で感じているさまざまな「不安」を一つひとつ解消していくことが、本当の意味での「豊かさ」や「幸せ」につながっていくものと考えております。これらの「不安」を一つでも多く解消し、町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりのために最善を尽くして参りますので、多くの町民の皆様の町政への積極的な参画と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年5月

## 目次

- 1 発行にあたって
- 2 まちの予算の状況
- 6 総合計画体系別の予算の状況
- 20 まちの決算の状況
- 27 まちの行政改革の取り組み
- 29 まちの行政組織

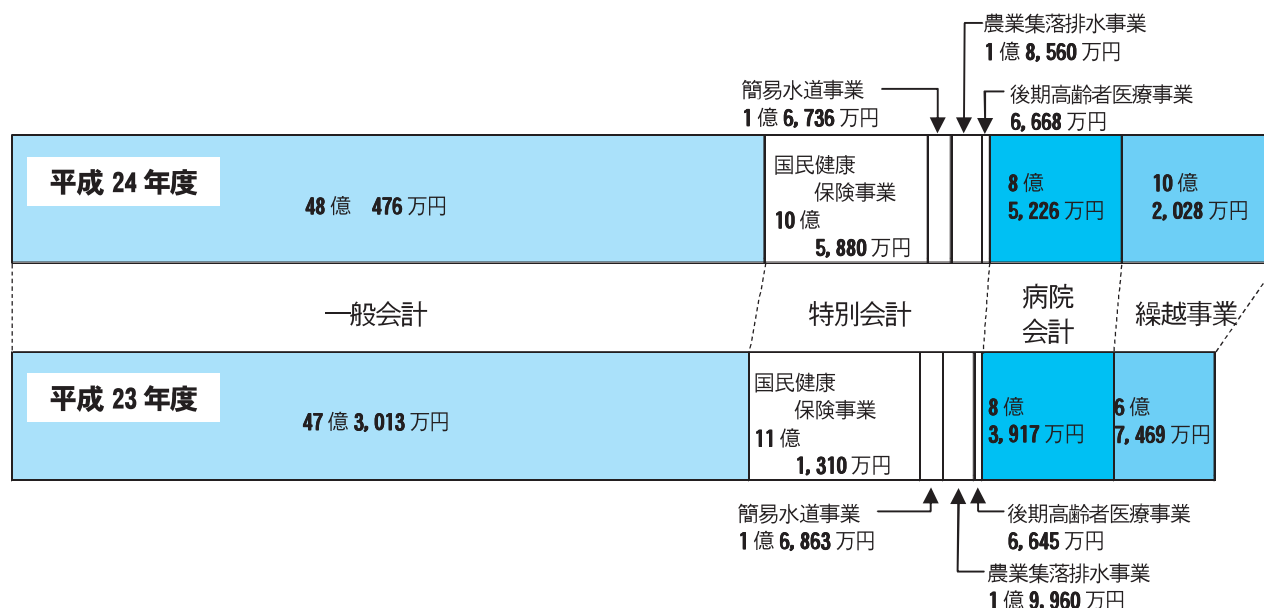
# 平成24年度 まちの 予算 の状況

## ■予算額 (平成 23 年度対比)

平成 24 年度の町の予算総額は、71 億 3,546 万円で前年度に比較して 1,838 万円 (0.3 パーセント) の増となりました。

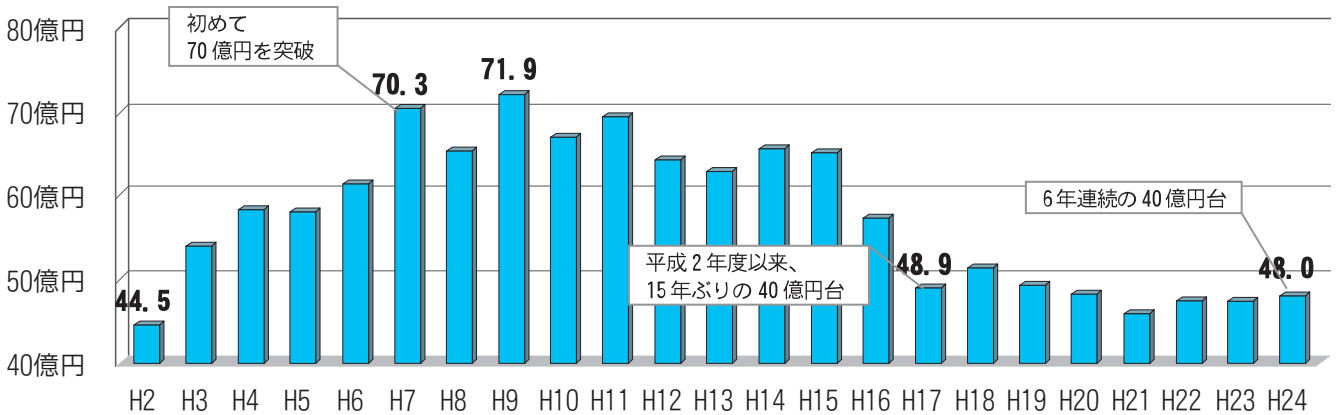
また、平成 23 年度からの繰越事業 10 億 2,028 万円を加えると、実質 3 億 6,397 万円 (4.7 パーセント) の増となっています。

会 計 名	平成 24 年度	平成 23 年度	増 減 額 (伸率)	
一 般 会 計	48 億 476 万円	47 億 3,013 万円	7,463 万円 ( 1.6%)	
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	10 億 5,880 万円	11 億 1,310 万円	▲ 5,430 万円 (▲ 4.9%)
	簡 易 水 道 事 業	1 億 6,736 万円	1 億 6,863 万円	▲ 127 万円 (▲ 0.8%)
	農 業 集 落 排 水 事 業	1 億 8,560 万円	1 億 9,960 万円	▲ 1,400 万円 (▲ 7.0%)
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	6,668 万円	6,645 万円	23 万円 ( 0.3%)
国民健康保険病院事業会計	8 億 5,226 万円	8 億 3,917 万円	1,309 万円 ( 1.6%)	
合 計	71 億 3,546 万円	71 億 1,708 万円	1,838 万円 ( 0.3%)	
会 計 名	平成 23 年度繰越分	平成 22 年度繰越分	増 減 額 (伸率)	
一 般 会 計	10 億 2,028 万円	6 億 7,469 万円	3 億 4,559 万円 ( 51.2%)	
合 計	10 億 2,028 万円	6 億 7,469 万円	3 億 4,559 万円 ( 51.2%)	
総 合 計	81 億 5,574 万円	77 億 9,177 万円	3 億 6,397 万円 ( 4.7%)	



## ■一般会計当初予算額の推移

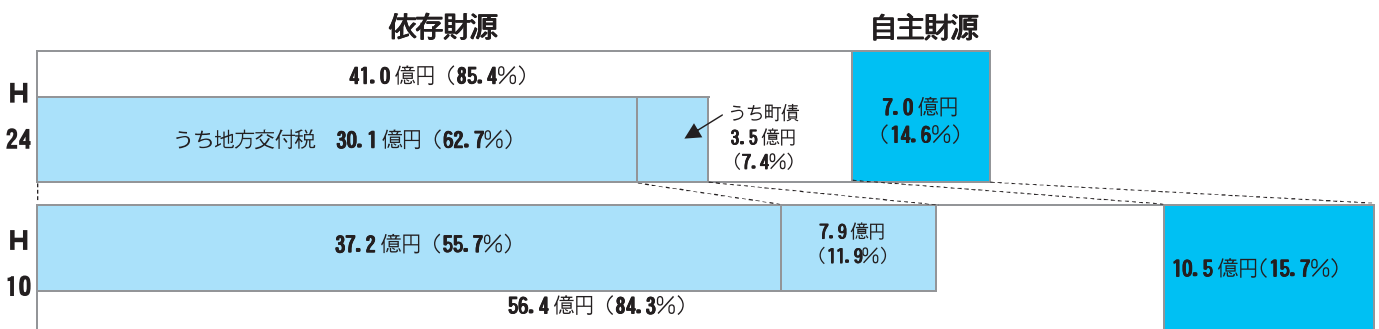
平成2年度以降の一般会計当初予算額の推移をグラフにしてみました。平成9年度の71億9,000万円を最高に右肩下がりに転じ、ここ数年は平成初期の予算水準となっています。



## ■歳入 (入ってくるお金)

歳入は、その性質により依存財源（国・県などから交付、割り当てられるお金で【地方交付税、国庫・県支出金、各種交付金など】）と自主財源（町が自力で収入できるお金で【税金、使用料、負担金、基金からの繰り入れなど】）に分かれます。

項目		平成24年度予算額 (構成比率)	平成10年度予算額 (構成比率)	摘要
依存財源	地方交付税	30億1,000万円 (62.7%)	37億2,200万円 (55.7%)	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町債	3億5,330万円 (7.4%)	7億9,460万円 (11.9%)	事業を行うために国などから借入るお金
	国庫支出金	2億8,624万円 (6.0%)	4億626万円 (6.1%)	事業を行うために国からもらうお金
	県支出金	3億3,759万円 (7.0%)	5億4,411万円 (8.1%)	事業を行うために県からもらうお金
	地方譲与税	5,900万円 (1.2%)	7,240万円 (1.1%)	自動車重量税など国税から町に配分されるお金
	その他の依存財源	5,370万円 (1.1%)	9,638万円 (1.4%)	利子割交付金、交通安全対策特別交付金等
自主財源	町税	4億7,254万円 (9.8%)	4億8,097万円 (7.2%)	町民の皆さんからの税金
	諸収入	8,835万円 (1.8%)	4,952万円 (0.8%)	町税等の延滞金や町預金利子等
	負担金及び負担金	7,447万円 (1.6%)	1億4,598万円 (2.2%)	保育所や老人ホームなどの利用者が負担したお金
	その他の自主財源	6,957万円 (1.4%)	3億7,019万円 (5.5%)	使用料、手数料など他の収入科目に含まれないお金
合計		48億476万円 (100.0%)	66億8,241万円 (100.0%)	



## ■歳出 (出ていくお金)

### ●性質別

歳出は、その性質により、支出が義務づけられ任意に削減できないお金「義務的経費」と、施設建設など将来残るものにかかるお金「投資的経費」、「その他の経費」の3項目に区分することができます。

項 目		平成 24 年度予算額 (構成比率)	平成 10 年度予算額 (構成比率)	摘 要
義務的経費	人 件 費	8 億 9,923 万円 (18.7%)	13 億 8,228 万円 (20.7%)	議員報酬、各種委員報酬、職員給与・手当などの経費
	公 債 費	8 億 714 万円 (16.8%)	11 億 4,495 万円 (17.1%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
	扶 助 費	3 億 7,787 万円 (7.9%)	4 億 2,702 万円 (6.4%)	医療費扶助、福祉関係扶助、教育関係扶助などの経費
投資的経費	普通建設事業費 (補助)	2 億 2,946 万円 (4.8%)	7 億 9,927 万円 (12.0%)	道路、建物など公共施設の建設のうち、国・県などから補助金・負担金を受けて施行する事業の経費
	普通建設事業費 (単独)	2 億 5,255 万円 (5.3%)	11 億 251 万円 (16.5%)	道路、建物など公共施設の建設のうち、国の補助などを受けず町が自主的に施行する事業の経費
	災害復旧事業	4,132 万円 (0.9%)	— (—)	洪水などの被害を受けた施設を原形に戻すため、国・県の補助金・負担金を受けて施行する事業の経費
その他の経費	補 助 費 等	7 億 8,387 万円 (16.3%)	6 億 1,515 万円 (9.2%)	報奨金、損害保険料、委託料(物件費に計上されていないもの)、負担金・補助金、公認費などの経費
	物 件 費	7 億 4,030 万円 (15.4%)	8 億 4,581 万円 (12.6%)	消費的性質の経費で、賃金、旅費、交際費、消耗品費、郵便料、委託料、使用料、100万円以下の備品などの経費
	繰 出 金	5 億 2,380 万円 (10.9%)	1 億 7,401 万円 (2.6%)	特別会計などへ支出する経費
	その他の経費	1 億 4,922 万円 (3.0%)	1 億 9,141 万円 (2.9%)	維持補修費、投資、出資金、貸付金、積立金、予備費
合 計		48 億 476 万円 (100.0%)	66 億 8,241 万円 (100.0%)	

### ●目的別

目的別は、行政目的により議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費の14項目に区分されます。

項 目	平成 24 年度予算額 (構成比率)	平成 10 年度予算額 (構成比率)	摘 要
民 生 費	10 億 2,005 万円 (21.2%)	10 億 691 万円 (15.1%)	老人や身障者、保育所の運営など社会保障にかかる経費
公 債 費	8 億 719 万円 (16.8%)	11 億 4,505 万円 (17.1%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
衛 生 費	7 億 4,294 万円 (15.5%)	5 億 4,679 万円 (8.2%)	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
総 務 費	8 億 665 万円 (16.8%)	7 億 140 万円 (10.5%)	町の財産管理や町税の事務などにかかる経費
教 育 費	3 億 3,697 万円 (7.0%)	10 億 582 万円 (15.1%)	小・中学校の運営や社会教育・体育事業の開催などにかかる経費
農林水産業費	3 億 9,748 万円 (8.3%)	13 億 2,300 万円 (19.8%)	農林・畜産業の振興や土地改良事業などにかかる経費
消 防 費	2 億 7,698 万円 (5.8%)	3 億 739 万円 (4.6%)	防災や災害時の活動などにかかる経費
土 木 費	2 億 3,496 万円 (4.9%)	5 億 7 万円 (7.5%)	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
議 会 費	6,826 万円 (1.4%)	1 億 434 万円 (1.5%)	議会の運営にかかる経費
その他の経費	1 億 1,328 万円 (2.3%)	4,164 万円 (0.6%)	商工費、労働費、諸支出金、予備費などの経費
合 計	48 億 476 万円 (100.0%)	66 億 8,241 万円 (100.0%)	

## ●節別

節別は、支出目的により報酬、給料、賃金、報償費、旅費、交際費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費、負担金補助及び交付金、扶助費、繰出金、予備費など 29 項目に区分されます。

項目	平成 24 年度予算額 (構成比率)	平成 10 年度予算額 (構成比率)	摘要
負担金補助及び交付金	10 億 9,026 万円 (22.7%)	9 億 6,570 万円 (14.5%)	団体や事業に対する補助金や負担金にかかる経費
給与・職員手当・共済費等	8 億 4,766 万円 (17.6%)	12 億 8,415 万円 (19.2%)	職員の給与や手当、共済費にかかる経費
償還金利子及び割引料	8 億 1,014 万円 (16.9%)	13 億 949 万円 (19.6%)	町債 (町の借金) の返済にかかる経費
委託料・使用料・賃借料	5 億 8,068 万円 (12.1%)	9 億 8,625 万円 (14.8%)	電算処理、事務機器の借上げや工事の設計などにかかる経費
扶助費	3 億 6,866 万円 (7.7%)	7,014 万円 (1.0%)	医療費助成などにかかる経費
繰出金	3 億 13 万円 (6.2%)	1 億 7,401 万円 (2.6%)	特別会計へ定められたルールのもとに出すお金
工事請負費	2 億 8,032 万円 (5.8%)	10 億 1,252 万円 (15.2%)	道路建設など公共事業の施工にかかる経費
旅費・需用費・役務費	2 億 553 万円 (4.3%)	3 億 8,105 万円 (5.7%)	旅費、消耗品、修繕料、光熱水費、郵便料など行政運営にかかる経費
報酬・賃金	1 億 4,461 万円 (3.0%)	1 億 6,254 万円 (2.4%)	議員、各種行政委員、臨時職員、嘱託職員などへの報酬、賃金
その他の経費	1 億 7,677 万円 (3.7%)	3 億 3,656 万円 (5.0%)	交際費、原材料費、公有財産購入費、備品購入費、積立金、公課費 (自動車重量税など)、予備費など
合計	48 億 476 万円 (100.0%)	66 億 8,241 万円 (100.0%)	

## ●性質別

	義務的経費	投資的経費	その他の経費
H 24	20.8 億円 (43.4%) うち人件費 9.0 億円 (18.7%) うち公債費 8.1 億円 (16.8%)	5.2 億円 (11.0%)	22.0 億円 (45.6%) うち補助費等 7.8 億円 (16.3%) うち物件費 7.4 億円 (15.4%)
H 10	13.8 億円 (20.7%) 11.4 億円 (17.1%) 29.5 億円 (44.2%)	19.0 億円 (28.5%)	6.2 億円 (9.2%) 8.5 億円 (12.6%) 18.3 億円 (27.3%)

## ●目的別

	民生費	公債費	衛生費	教育費	農林水産費	総務費 その他の経費
H 24	10.2 億円 (21.2%)	8.1 億円 (16.8%)	7.4 億円 (15.5%)	3.4 億円 (7.0%)	4.0 億円 (8.3%)	14.9 億円 (31.2%)
H 10	10.1 億円 (15.1%)	11.5 億円 (17.1%)	5.5 億円 (8.2%)	10.1 億円 (15.1%)	13.2 億円 (19.8%)	16.4 億円 (24.7%)

## ●節別

	負担金補助及び交付金 繰出金・扶助費	給料・手当 共済費 報酬・賃金	償還金及び 割引料	工事 請負	その他の経費
H 24	17.6 億円 (36.6%)	9.9 億円 (20.7%)	8.1 億円 (16.9%)	2.8 億円 (5.8%)	9.6 億円 (20.0%)
H 10	12.1 億円 (18.1%)	14.5 億円 (21.6%)	13.1 億円 (19.6%)	10.1 億円 (15.2%)	17.0 億円 (25.5%)

予算総額の81億5,574万円を総合計画の体系別に組み替えると、次のとおりとなります。

## I 安心して暮らせる町 46億4,860万円

### 1 健康で快適に暮らせるまちづくり 42億4,694万円

(1) 保健・医療の充実 26億1,856万円	国民健康保険の充実	11億8,682万円
	医療の確保	13億1,815万円
	健康づくりの推進	1億 692万円
	年金の充実	667万円
(2) 福祉の充実 7億 886万円	高齢者福祉の充実	3億8,039万円
	障がい者福祉の充実	2億5,733万円
	地域福祉の充実	6,167万円
	母子家庭等の福祉の充実	947万円
(3) 子育て環境の充実 2億4,761万円	保育所の充実	1億3,422万円
	児童館の運営など	104万円
	児童福祉の充実	1億1,235万円
(4) 生活環境の整備 6億7,191万円	水道施設の整備	2億2,063万円
	生活排水処理施設の整備	2億8,719万円
	環境衛生の充実	1億1,189万円
	住宅の整備	5,168万円
	公園の整備	52万円

### ■ 主な事業と予算

- 健康づくりに関する具体的な計画「健康くずまき21（二次プラン）」を策定します。
- 食育推進計画に基づき、地域特性を活かした「食育」を推進します。
- 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための支援を行います。
- 幼児や高齢者が接種する各種予防ワクチン接種費用への助成範囲を拡充します。
- 通院バス利用対象者の拡充を図ります。
- 町内全域でうつくりーニングを実施するとともに、「こころの健康づくり連絡会」との連携等により、自殺予防対策を推進します。
- 乳幼児から高齢者までの生活習慣病予防や介護予防を視野に入れた健康診査、健康相談を行います。
- 平成20年4月からスタートした後期高齢者医療事業の充実に努めます。
- 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉、介護保険事業の各福祉計画に基づき事業を推進します。
- 保育所・児童館の適正な配置運営について検討します。
- 木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する助成事業を引き続き実施します。

## ● 新規事業等

### 【拡充】 児童生徒医療費助成事業

700万円

住民会計課

これまで乳幼児及び児童を対象にしていた医療費助成事業の対象を生徒（中学生）まで拡大し実施します。

乳幼児及び児童と同じ内容で8月診療分から対象となります。

### 【新規】 くずまキッズ予防接種事業

267万円

健康福祉課

1歳から就学前の子どもが接種した、「おたふく風邪」及び「みずぼうそう」の各予防ワクチン接種費用に対し、約半額相当のくずまき商品券で助成します。

助成手続きは、健康福祉課で行っています。

ワクチン接種費用に係る領収書と印鑑を持参のうえ、健康福祉課へ申請してください。申請内容を確認後、即日交付します。

### 【継続】 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業

552万円

健康福祉課

国の補助事業により子宮頸がん予防ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン及びH i b ワクチンの接種費用を全額助成します。

○対象者

#### ① 子宮頸がん予防ワクチン

- ・ 中学1年生から高校1年生相当の女子
- ・ 平成23年度に高校1年生の女子で、平成23年度中に1回以上接種した方

#### ② 小児用肺炎球菌ワクチン及びH i b ワクチン

- ・ 生後2ヶ月から5歳未満の子ども

### 【新規】 ワクチン接種推進事業

235万円

健康福祉課

国の補助事業（左記）により、子宮頸がん予防ワクチンの費用助成を受けられない方及び、高齢者の肺炎球菌による集団感染を抑制するため、接種費用の全額助成を行います。

○対象者

#### ① 子宮頸がん予防ワクチン

高校3年生相当の女子

#### ② 高齢者用肺炎球菌ワクチン

医療機関又は社会福祉施設等に入院（所）している65歳以上の方。

### 【新規】 江川簡易水道統合整備事業

500万円

建設水道課

安全で安定的な給水を確保するため、江川簡易水道施設の改良整備に着手します。

#### 【事業内容】

江川簡易水道施設の改良と統合を含めた調査を行い、基本計画と基本設計を策定します。



水道管更新作業の様子



### 【新規】定住促進住宅整備事業

3,760万円

総務企画課

町への移住者・定住者や地場産業の後継者など地域を支える人材の育成及び確保を図るために「定住促進住宅」を整備します。

#### 【事業内容】

・定住促進住宅 3棟

### 【新規】廃棄物処理事業（分別処理業務）

564万円

農林環境エネルギー課

ごみ分別収集品目の細分化（生ごみ・プラスチック製容器包装・古紙類に含まれる紙製容器包装等）を図り、更なる、ごみの減量化と地域におけるリサイクル率の向上を推進します。

#### 【事業内容】

・生ごみ回収作業車両 1台  
・生ごみ回収ボックス  
・ごみ出しカレンダー、ごみの出し方辞典



昨年度整備された医師住宅

### 【新規】医師住宅整備事業

1,500万円

葛巻病院

医師住宅を新築し、医師の住環境を整備することにより医師確保を図ります。

#### 【事業内容】

・医師住宅 1棟

## ● 継続して行う事業（主なもの）

- 介護保険事業 ..... 1億6,748万円（健康福祉課）
- 地域福祉等推進特別支援事業 ..... 594万円（ 〃 ）
- 障がい者自立支援給付事業 ..... 2億1,540万円（ 〃 ）
- 障がい者在宅福祉事業 ..... 9,070万円（ 〃 ）
- めくもり助成事業 ..... 414万円（ 〃 ）
- 生活習慣病予防事業 ..... 2,073万円（ 〃 ）
- 通院バス等運行事業 ..... 2,442万円（ 〃 ）
- 母子保健事業 ..... 489万円（ 〃 ）
- 保育所運営事業 ..... 3,322万円（教育委員会）
- 児童館運営事業 ..... 1,035万円（ 〃 ）
- 子どものための手当支給管理事業 ..... 8,240万円（住民会計課）
- 高齢者世帯等水洗化普及支援事業 ..... 240万円（建設水道課）

## 2 地域で支え合うまちづくり 4億 166万円

(1) 防災対策、消防・救急体制の充実 3億 9,613万円

広域消防の充実	2億 103万円
消防団活動の充実	5,522万円
消防施設の充実	3,841万円
防災対策の充実	1億 147万円

(2) 交通、防犯、青少年対策の充実 553万円

交通安全対策の充実	139万円
防犯・青少年対策の充実	414万円

### ■ 主な事業と予算

- 災害の未然防止及び応急体制の確立を図るとともに、町民の防災意識の高揚に努めます。
- 消防・救急対策については、関係団体との緊密な連携を図りながら、消防施設の近代化と組織体制の強化に努めるとともに、町民の防火意識の高揚に努めます。
- 交通安全対策については、交通安全教育の徹底、交通安全団体の育成、交通事故相談体制の充実を図るとともに、交通安全施設整備の推進に努めます。
- 防犯については、防犯施設の適正な配置を図るとともに、町民の防犯意識の徹底、自主的な防犯体制の確立、防犯団体の育成に努め、犯罪のない明るい地域社会の形成に努めます。

### ● 新規事業等

#### 【新規】 公共施設再生可能エネルギー等導入事業

9,900万円 農林環境エネルギー課

避難所に指定されている公共施設について、停電時においても必要最低限の機能を維持できるように、再生可能エネルギー設備等の導入を図ります。

##### 【事業内容】

導入設備：太陽光発電設備、蓄電池  
屋内高所照明の更新  
導入場所：葛巻中学校（太陽光発電設備を除く）  
小屋瀬中学校、五日市小学校

#### 【繰越】 消防団活動安全対策用資機材整備事業

2,016万円 総務企画課

消防団員が水災害や夜間に現場活動する際の安全を確保するための資機材を整備します。

##### 【事業内容】

・ライフジャケット、ボート、浮輪、フローティングロープ、拡声器、トランシーバ、投光器、発電機、ガソリン携行缶の整備

### ● 継続して行う事業（主なもの）

- |                       |         |         |
|-----------------------|---------|---------|
| ● 防火水槽整備事業            | 635万円   | （総務企画課） |
| ● 消防施設修繕事業            | 97万円    | （ 〃 ）   |
| ● 消防ポンプ自動車整備事業（第17分団） | 2,100万円 | （ 〃 ）   |
| ● 小型動力消防ポンプ積載車（第9分団）  | 735万円   | （ 〃 ）   |
| ● 反射鏡設置事業             | 13万円    | （ 〃 ）   |
| ● 防犯灯設置事業             | 10万円    | （ 〃 ）   |

## Ⅱ 自然とともに生きる町 4億2,676万円

### 1 環境を守り育てるまちづくり 5,145万円

(1) 自然環境の保全 71万円

自然環境の保全

71万円

(2) 水資源・町土の保全  
1,147万円

自然環境の保全  
砂防施設の管理等

31万円  
1,116万円

(3) 地域エネルギーの活用  
3,927万円

新エネルギー・省エネルギーの普及・啓発  
新エネルギー施設の管理等

2,142万円  
1,785万円

### ■ 主な事業と予算

- 町の貴重な財産である自然環境を守り育て、次世代へ引き継ぐための意識啓発と自然環境保護に取り組めます。
- 地域エネルギーの活用については、町民や事業者がそのメリットを実感できるよう、新エネルギー等の導入や環境に配慮した取り組みを推進します。

### ● 新規事業等

#### 【新規】エコ・エネ総合対策事業費補助金 600万円 農林環境エネルギー課

環境配慮型の取り組みに対する補助事業を見直し、環境に優しい町づくりを目指します。

##### 【事業内容】

新エネルギー設備の導入や環境改善・リサイクル活動を行う場合に要する経費に対し、補助金を交付します。

#### 【新規】バイオガスシステム改修事業 1,380万円 農林環境エネルギー課

ごみ分別の細分化に伴い、収集した生ごみをくずまき高原牧場内に設置されている「畜ふんバイオガスシステム」において処理するために必要な施設の改修を行います。

#### 【新規】中心市街地街路灯LED化事業 567万円 総務企画課

中心市街地の街路灯90基(180個)の電球のLED化を実施し、消費電力の抑制による、電気料金及び二酸化炭素排出量の削減を図ります。

##### 【事業内容】

- ・LED電球購入
- ・取替え工事一式

#### 【継続】防犯灯LED化事業 559万円 総務企画課

消費電力の削減のため、現在使われている蛍光灯防犯灯を省電力のLED防犯灯に交換し住民生活の安心・安全を図ります。

##### 【事業内容】

- ・LED防犯灯 387基

### ● 継続して行う事業 (主なもの)

- 自然環境保護推進事業 …………… 71万円 (農林環境エネルギー課)
- くずまき高原コーディネート事業 …………… 183万円 ( “ )

## 2 地域資源を生かした産業を推進するまちづくり 3億7,531万円

(1) 農業の振興 2億 211万円	畜産振興 5,327万円 農業振興 1億 745万円 農業施設等の整備 4,139万円
(2) 林業の振興 5,838万円	林業振興 5,838万円
(3) 農林産物加工の振興 220万円	加工施設等の充実 220万円
(4) 商工業の振興 2,986万円	商工業の振興 2,986万円
(5) 観光の振興 6,724万円	観光の振興 660万円 観光施設等の充実 6,064万円
(6) 雇用機会の確保 1,552万円	雇用機会の確保 1,552万円

### ■ 主な事業と予算

- 農業振興については、6次産業化の起業支援、園芸作物の生産拡大を図るとともに、葉たばこ栽培品質向上対策事業を創設するなど、新たな雇用の創出及び農家の所得向上を図ります。
- 畜産振興については、粗飼料生産基盤の強化と粗飼料自給率の向上を図るとともに、乳用牛及び肉用牛の改良を進め、農家経営の安定化対策に努めます。
- 林業振興については、豊かな森林環境の将来にわたっての保全と利用拡大を推進します。
- 商工業の振興については、まちなか活性化協議会と連携しながら、四季を通じてイベントを開催するなど活性化を図ります。

### ● 新規事業等

#### 【新規】葉たばこ栽培品質向上対策事業費補助金

72万円 農林環境エネルギー課

町の重点作物に位置づけられている葉たばこの品質向上を図り、農家経営の安定を目指します。

#### 【事業内容】

葛巻町たばこ耕作振興会に所属する葉たばこ栽培農家が、3戸以上の者で共同利用する生産管理用機械の購入経費に対し、2分の1に相当する額を助成します。

#### 【新規】乳牛導入120周年記念事業

300万円 農林環境エネルギー課

明治25年に本町に乳牛が導入されてから120周年の節目の年を迎え、今後の酪農振興の弾みとなるよう各種事業を展開します。

#### 【事業内容】

- ・酪農の町をアピールする看板の作成
- ・マスコットキャラクター(着ぐるみ)の作成
- ・県畜産共進会ホルスタイン種の部の開催
- ・記念シンポジウムの開催
- ・記念誌の発行 等

**【新規】黒毛和種繁殖雌牛改良対策事業費補助金**

100万円 農林環境エネルギー課

黒毛和種の改良を進めるため、10歳以上の繁殖雌牛（高齢牛）を更新した場合、1頭あたり2万円を助成します。

**【事業内容】**

- ① 成24年12月31日以前に高齢牛を処分すること。
  - ② 平成24年1月1日から12月31日までの期間に代替牛を導入又は保留すること。
  - ③ 平成24年1月1日と12月31日で頭数が減らないこと。
- ①～③のすべての条件を満たした場合に助成します。

**【新規】優良後継牛確保対策事業費補助金**

100万円 農林環境エネルギー課

乳用牛及び肉用牛の優良後継牛を確保するため、新技術等による人工授精に要する経費の一部を助成します。

**【事業内容】**

- 乳用牛 雌雄判別精液の人工授精の助成  
2,000円×250本=500,000円
- 肉用牛 家畜改良事業団の推奨する種雄牛の人工授精の助成  
5,000円×100本=500,000円
- ※種雄牛は、福安照、光平照、美津百合、芳之国の4頭です。

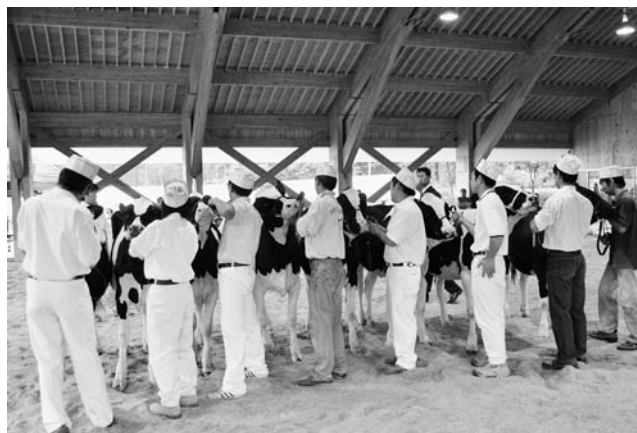
**【新規】預託牛互助会支援事業費補助金**

100万円 農林環境エネルギー課

町畜産開発公社の預託牛に事故等が発生し、互助金が支払われた場合、公社から支払われる互助金とは別に、損失額の3分の1の額を助成します。

**【事業内容】**

預託牛の死亡、廃用、繁殖遅延、不妊、乳房炎等の事故が発生した場合、預託牛互助会から支払われた互助金の3分の1に相当する額  
予算額 100万円



町ホルスタイン共進会の様子

**【新規】草地畜産基盤整備事業費補助金**

1,266万円 農林環境エネルギー課

粗飼料生産基盤の整備により、粗飼料自給率の向上と経営規模の拡大を図り、畜産経営の安定化を進めます。

**【事業内容】**

- ・草地造成整備、改良整備 補助率 65/100
- ・粗飼料生産設備、機械等 補助率 55/100

岩手県農業公社が事業主体となり、平成24年度から葛巻第一地区（25名）で事業着工します。

**【拡充】中心市街地活性化事業費補助金**

250万円 総務企画課

まちなか活性化協議会と連携し、まちなか（JRバス葛巻駅構内）において四季のイベントを実施することにより、まちなかの賑わいを創出し、地元購買率の向上を図ります。

**【事業内容】**

- まちなか「へっちょこ」まつり
  - ・新緑まつり（6月）
  - ・くずまきワイン&生ビールまつり（7月）
  - ・くずまき夏まつり（8月【サポート事業】）
  - ・新そばまつり（10月）
  - ・雪像コンテスト、雪だるまロード（1月）

### 【繰越】馬淵川河川現況調査事業

350万円

建設水道課

中心市街地整備構想の一環として位置づけられている馬淵川堤防（茶屋場交差点から役場裏まで約1.8km区間）を市街地の環状線的な活用と防災充実のため、河川・堤防の調査を行います。

#### 【事業内容】

- ・河川占用許可に向けた各種調査

### 【新規】物産等販売促進活動支援事業費補助金

50万円

総務企画課

町内の事業者が町外で行われる物産展等に出席する場合の経費を助成し、宣伝及び販売を促進することで、特産品の知名度向上と販路開拓等を図ります。

#### 【事業内容】

町外で開催される物産展等に町内事業者が出席し、自社で製造した特産品を販売する際に要する経費に対して、1事業者最大10万円/年を補助します。

### 【繰越】農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業

6,024万円

農林環境エネルギー課

葛巻町活性化計画に基づき、町が持っている多面的な機能と資源を活かし、グリーン・ツーリズムやエコ・ツーリズムなどの体験・滞在型観光を推進し、交流人口の拡大等を目指します。

#### 【事業内容】

体験型教育旅行等の大人数による宿泊に対応するため、くずまき交流館プラトアの浴室を整備します。



物産展の様子

## ● 継続して行う事業（主なもの）

- 町農業後継者等パートナー事業 ..... 30万円（ 農業委員会事務局 ）
- いわて未来農業確立総合支援事業 ..... 2,118万円（農林環境エネルギー課）
- くずまき型農畜産物加工ブランド力強化支援事業 ... 1,227万円（ ” ）
- 林業担い手育成支援事業 ..... 72万円（ ” ）
- 造林、再造林等事業 ..... 1,185万円（ ” ）
- 森林整備地域活動支援交付金 ..... 1,010万円（ ” ）
- 中山間地域総合整備事業 ..... 1,670万円（ 建設水道課 ）
- ものづくり・人材育成支援事業 ..... 50万円（ 総務企画課 ）
- 住宅リフォーム応援奨励金 ..... 600万円（ ” ）
- 新婚ライフサポート金 ..... 150万円（ ” ）
- 定住奨励金 ..... 157万円（ ” ）
- 若者雇用促進奨励金 ..... 600万円（ ” ）
- 高齢者雇用促進奨励金 ..... 600万円（ ” ）

### Ⅲ 人・文化・交流で元気になる町 11億6,387万円

#### 1 人と文化を育むまちづくり 5億 405万円

(1) 教育の充実 4億 763万円	小中学校教育の充実 3億9,445万円 学校保健の充実 627万円 高等学校教育の充実 691万円
(2) 生涯学習の充実 4,067万円	生涯学習環境の整備 3,658万円 年代別学習の推進 409万円
(3) 生涯スポーツ・ レクリエーションの推進 5,452万円	生涯スポーツ・レクリエーションの充実 1,136万円 体育施設等の管理 4,316万円
(4) 地域文化の創造 123万円	地域文化の創造 123万円

#### ■ 主な事業と予算

- 保育園、小学校の連携を一層促進し、就学前の子どもの育ちを支えるとともに、小学校への円滑な接続を図ります。
- 学校教育については、基礎学力の定着を図るとともに、地域の資源を生かした教育を推進するとともに、学校施設整備を行い、安全安心な教育環境の構築を目指します。
- 高等学校教育の振興については、生徒の通学助成事業や魅力ある学校づくり事業に重点を置いた助成を行います。
- 生涯学習については、町民が心豊かで充実した人生を送るため、生涯の各時期における学習課題に応じた事業を展開し、生涯学習の効果的な推進に努めます。

#### ● 新規事業等

##### 【繰越】 葛巻小学校屋内プール整備事業

15,920万円

教育委員会

安心安全な学校教育環境整備のため、老朽化の著しい葛巻小学校プールの改築を行います。

##### 【事業内容】

屋内温水プール 1面（6コース）1,040㎡  
 ・高学年用 長さ25m×幅9m、水深1.1m  
 ・低学年用 長さ20m×幅4m、水深0.7m  
 長さ5m×幅4m、水深0.3m

##### 【新規】 社会体育館耐震診断事業

800万円

教育委員会

町民の生涯スポーツ、競技スポーツ活動の拠点となっている、社会体育館の耐震診断を行います。

##### 【事業内容】

・社会体育館耐震診断業務委託  
 建築年度 S53年  
 総床面積 3,805㎡

**【新規】 郷土芸能伝承活動推進協議会  
活動費補助金**

20万円

教育委員会

町内にある郷土芸能団体の活動を支援するため、葛巻町郷土芸能伝承活動推進協議会を立ち上げ、地域に根ざし、伝承していく郷土芸能活動の支援を行います。

**【事業内容】**

- ・ 伝承活動の推進
- ・ 活動記録の映像化保存 等



茶屋場えんぶり保存会の門打



葛巻高校のドイツ交流派遣事業

**【継続】 高等学校教育振興事業**

691万円

教育委員会

高等教育の振興及び就学奨励に関する活動を支援するため、葛巻高等学校教育振興協議会が行う、魅力ある学校づくり事業に対し補助金を交付します。

**【事業内容】**

- ・ 通学補助事業
- ・ 魅力ある学校づくり事業

**● 継続して行う事業（主なもの）**

●心の教室相談員設置事業	96万円（教育委員会）
●特別支援教育支援員設置事業	305万円（ “ ）
●社会人特別講師派遣費支援事業	20万円（ “ ）
●青少年健全育成事業	56万円（ “ ）
●文化財保護事業	72万円（ “ ）
●小・中学校朗読会開催事業	10万円（ “ ）
●放課後子ども教室推進事業	90万円（ “ ）



## 2 交流を広げ、誇りを持って情報発信するまちづくり 6億5,982万円

(1) 交通・通信ネットワーク  
の整備 6億5,982万円

道路交通網の整備	2億2,305万円
バス交通対策の推進	735万円
地域情報化の推進	4億2,942万円

(2) 交流・連携の推進

交流・連携の推進

### ■ 主な事業と予算

- 町道整備・道路維持修繕事業・安全施設設置事業・橋りょう長寿命化事業を実施し、計画的な維持管理に努めます。また、除雪体制も国・県道路線交換等を進め効率的な計画を立案し、住民サービスの充実に努めます。
- バス交通対策については、引き続き関係町村と連携しながら路線維持に努めます。

### ● 新規事業等

#### 【新規】 町道宝積寺線道路改良事業

500万円

建設水道課

道路勾配が急勾配であるため特にも冬期間の通行には支障を来している本路線について、融雪システムを導入し通行の安全確保を図ります。

##### 【事業内容】

- ・融雪システム導入に向けた調査

#### 【新規】 町道渋谷地東線道路改良事業

2,000万円

建設水道課

砂利道で且つ狭隘なため冬期間の除雪機械の進入が出来ず住民の生活に支障を来している本路線について、道路幅員の拡張により車両及び歩行者の円滑で安全な通行確保を図ります。

##### 【事業内容】

- ・道路幅員の拡張

#### 【新規】 町道大城線道路改良事業

1,000万円

建設水道課

狭隘且つ急勾配であり屈曲もあることから、特にも冬期間の通行に支障を来している本路線について、道路幅員の拡張及び縦断勾配の緩和を行い、車両及び歩行者の円滑で安全な通行確保を図ります。

##### 【事業内容】

- ・道路幅員の拡張



道路改良工事の様子

### 【新規】町道八幡茶屋場線道路改良事業

2,920万円

建設水道課

現在、町中心部は有事により国道が封鎖された場合の代替道路がない状況にあり、中心市街地を環状するバイパス的な整備が望まれています。そこで、本路線を馬淵川沿いに整備することにより、中心市街地へのアクセスと通過車両との車両分類が実現し、市街地の混雑解消や有事の際の迂回路として機能し交通網の充実が図られます。

### 【新規】橋りょう修繕事業

600万円

建設水道課

平成21年度に策定した橋りょう長寿命化修繕計画に基づいた事業であり、コスト軽減と橋りょう本体の延命化のため、毎年2橋程度の修繕を行います。

### 【新規】バス路線運行拡大支援対策費補助金

450万円

総務企画課

乗合バス事業者が、町内生活交通路線の運行拡大等の事業を行う場合に要する経費に対し助成を行い、生活交通ネットワークの構築及び町民の利便性の向上を図ります。

#### 【事業内容】

- ・冬部方面、江刈馬淵方面の路線本数をそれぞれ2往復ずつ増便

### 【新規】携帯電話不感地域解消事業負担金

3,000万円

総務企画課

通信事業者（NTTドコモ）が行う移動通信用簡易基地局整備に対し、整備費用の一部を負担し携帯電話不感地域の解消を大幅に促進します。

### 【繰越】地域情報通信基盤施設拡充整備事業

3億6,582万円

総務企画課

災害情報等の情報発進力強化を図るため、情報通信基盤施設の拡充整備を図り、「安全・安心に暮らせるまちづくり」の向上に努めます。

#### 【事業内容】

- ・防災情報伝達制御システム
- ・災害一斉指令システム
- ・エリアワンセグ放送設備 等

### ● 継続して行う事業（主なもの）

- 広域生活バス路線運行維持対策  
…………… 285万円（総務企画課）
- 町道小屋瀬塚森線道路改良事業  
…………… 3,503万円（建設水道課）
- 町道大沢中崎線道路改良事業  
…………… 418万円（建設水道課）
- 町道塚ノ沢線道路改良事業  
…………… 800万円（建設水道課）

## IV 幸せ実感の仕組みづくり 6,178万円

### 1 協働のまちづくり 6,178万円

(1) 住民参画の推進 1,039万円	住民参画の推進	1,039 万円
(2) 行政情報の共有 3,363万円	行政情報の共有	3,363万円
(3) 地区(集落)単位のまちづくり 1,750万円	自治会活動の充実	1,750万円
(4) 男女共同参画社会の推進	男女共同参画社会の推進	
(5) 各種地域組織の活動支援 26万円	各種地域組織の活動支援	26 万円

### ● 新規事業等

#### 【継続】協働のまちづくり事業費補助金

600万円

総務企画課

地域の特性を生かした個性的な事業を行い、潤いのある地域づくりを推進するため、4つのメニューにより、各種事業の経費の一部を助成します。

#### 【事業内容】

- ・ 結いの再生
- ・ 協働のまちづくり
- ・ コミュニティ活性化
- ・ 特認、基盤整備



星野地区夏祭りの様子

### ● 継続して行う事業（主なもの）

- 自治会活動交付金 …………… 1,750万円（総務企画課）
  - ・ 自治会運営交付金
  - ・ 地域活動事業交付金
  - ・ 町有財産維持管理経費
- 広報発行事業 …………… 325万円（総務企画課）

## V その他の行政業務 18億5,473万円

行政運営、賦課徴収、戸籍、選挙、町債の返済などで、総合計画の体系に分類できない業務  
18億5,473万円

公債費	8億 719万円
総務、企画、統計	4億2,211万円
税務、戸籍	6,834万円
議会、選挙、監査	7,417万円
その他	4億8,292万円

### ■ 主な事業と予算

- 東日本大震災の被災地支援に要する経費に対して助成を行います。
- H23年度に発生した大雨災害により被災した施設の復旧工事を行います。
- 各種選挙（農業委員会委員選挙）を管理執行します。

### ● 新規事業等

#### 【新規】被災地支援団体活動費補助金

150万円

総務企画課

東日本大震災被災地の復興支援のため、町内の各種団体等が被災地及び被災者に対する支援事業等を行う場合に要する経費に対し補助金を交付します。

##### 【事業内容】

- ・ 支援等に要する自動車借上料  
1台当たり30,000円を限度
- ・ 支援等に要する自動車借上料以外の経費  
1事業当たり20,000円を限度

#### 【拡充】被災地生徒等受入支援事業費補助金

400万円

総務企画課

東日本大震災被災地の復興支援のため、町内に所在する体験学習及び宿泊施設が、被災地の生徒等が行う体験学習等を受け入れた場合に要する経費に対し補助金を交付します。

##### 【事業内容】

- ・ 宿泊を伴う場合  
当該経費の2/3相当額以内の額  
1人1泊2日当たり4,000円を限度
- ・ 宿泊を伴わない場合  
当該経費の1/2相当額以内の額  
1人当たり1,000円を限度

#### 【繰越】農林水産施設災害復旧事業

6,490万円

建設水道課

平成23年9月21日～22日にかけての豪雨により浸食された田畑や農道・林道の復旧工事を行います。

##### 【事業内容】

- ・ 農業施設4箇所、農地4箇所、林業施設7箇所の災害復旧工事

#### 【繰越】公共土木施設災害復旧事業（23年災）

3億2,816万円

建設水道課

平成23年9月21日～22日にかけて町の全域が豪雨に見舞われ、洪水により壊された道路や浸食された河川をブロックやカゴマットなどにより再び被災しないように復旧を行います。

##### 【事業内容】

- ・ 河川36箇所、道路21箇所の災害復旧工事

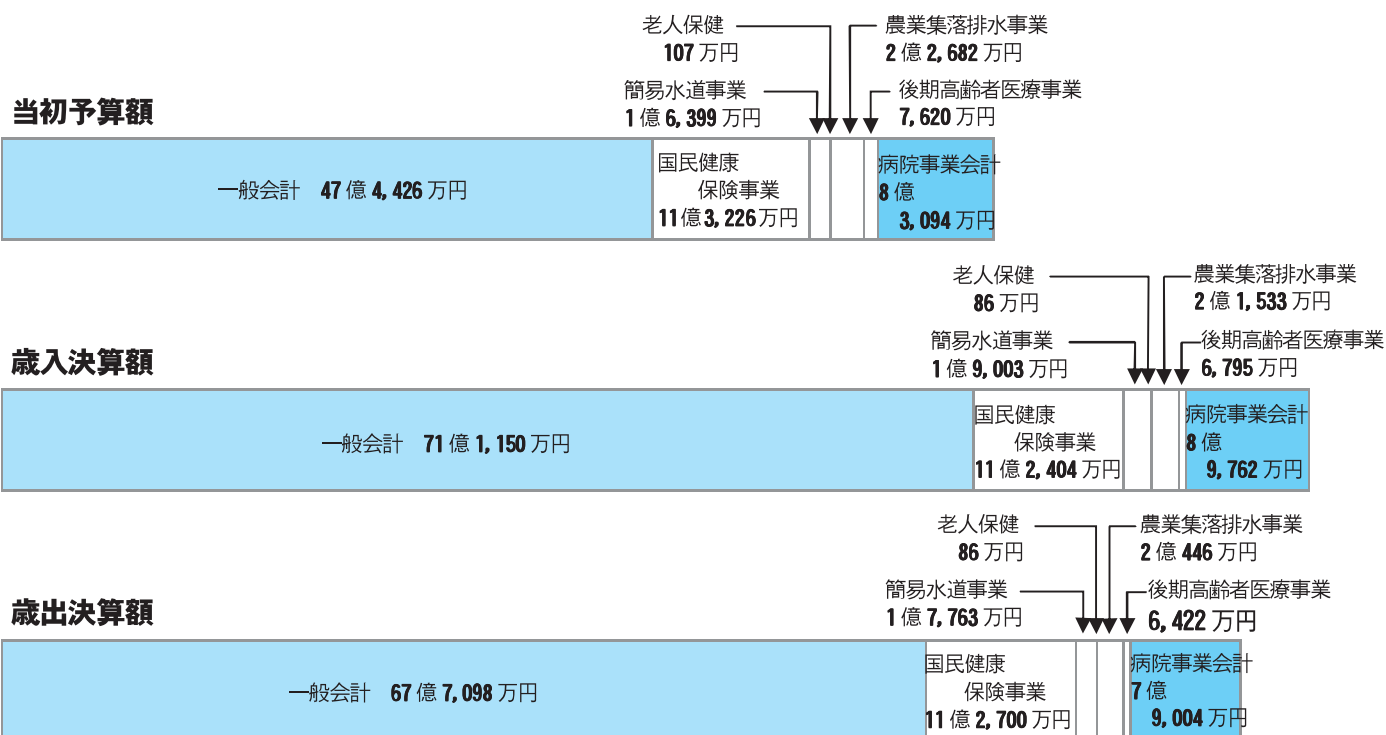
# 平成22年度 まちの 決算 の状況

## ■歳入歳出決算額

平成22年度の町の決算総額は、歳入総額96億733万円に対し、歳出総額91億3,519万円で、歳入歳出差引額は4億7,214万円（実質収支等は4億1,629万円）となっています。

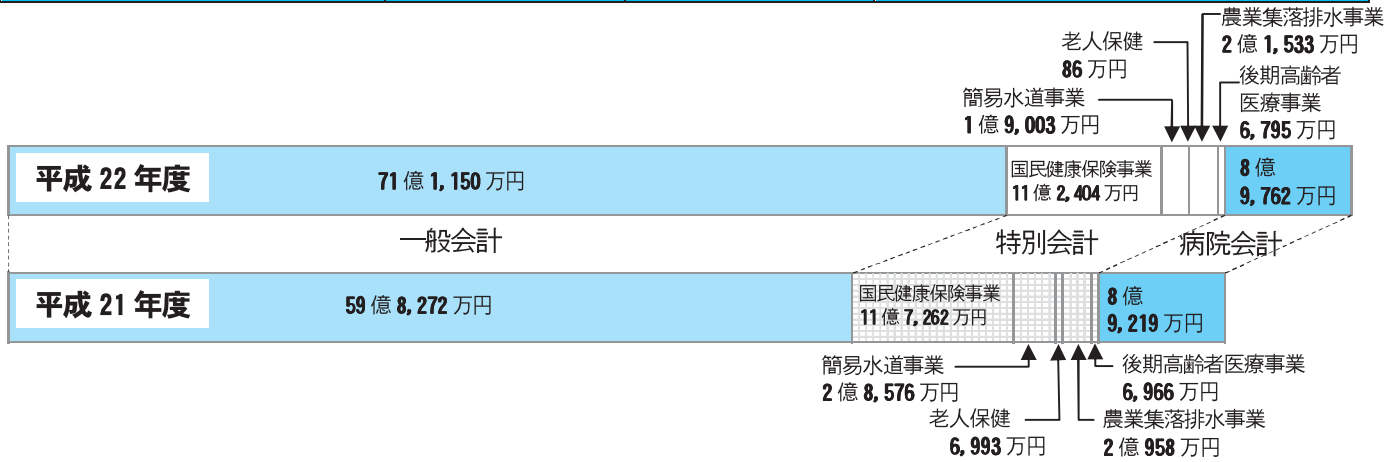
また、歳入総額を前年度と比較すると、9億2,487万円（10.7パーセント）の増、歳出総額を前年度と比較すると、10億6,112万円（13.1パーセント）の増となっています。

会計名	平成22年度 当初予算額	平成22年度 歳入決算額	平成22年度 歳出決算額	歳入歳出差引額	
一般会計	47億4,426万円	71億1,150万円	67億7,098万円	3億4,052万円	
特別会計	国民健康保険事業勘定	11億3,226万円	11億2,404万円	11億2,700万円	▲296万円
	簡易水道事業	1億6,399万円	1億9,003万円	1億7,763万円	1,240万円
	老人保健	107万円	86万円	86万円	-万円
	農業集落排水事業	2億2,682万円	2億1,533万円	2億446万円	1,087万円
	後期高齢者医療事業	7,620万円	6,795万円	6,422万円	373万円
国民健康保険病院事業会計	8億3,094万円	8億9,762万円	7億9,004万円	1億758万円	
合計	71億7,554万円	96億733万円	91億3,519万円	4億7,214万円	



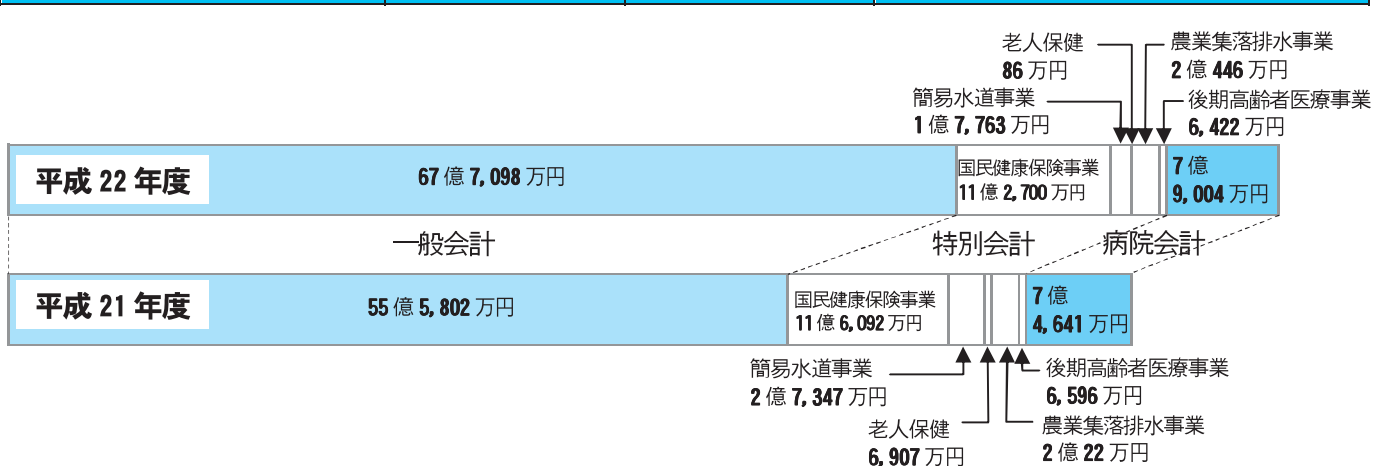
## ●歳入決算額 (平成21年度対比)

会計名	平成22年度	平成21年度	増減額(伸率)
一般会計	71億1,150万円	59億8,272万円	11億2,878万円(18.9%)
特別会計	国民健康保険事業勘定	11億2,404万円	11億7,262万円 ▲4,858万円(▲4.1%)
	簡易水道事業	1億9,003万円	2億8,576万円 ▲9,573万円(▲33.5%)
	老人保健	86万円	6,993万円 ▲6,907万円(▲98.8%)
	農業集落排水事業	2億1,533万円	2億958万円 575万円(2.7%)
	後期高齢者医療事業	6,795万円	6,966万円 ▲171万円(▲2.5%)
国民健康保険病院事業会計	8億9,762万円	8億9,219万円 543万円(0.6%)	
合計	96億733万円	86億8,246万円	9億2,487万円(10.7%)



## ●歳出決算額 (平成21年度対比)

会計名	平成22年度	平成21年度	増減額(伸率)
一般会計	67億7,098万円	55億5,802万円	12億1,296万円(21.8%)
特別会計	国民健康保険事業勘定	11億2,700万円	11億6,092万円 ▲3,392万円(▲2.9%)
	簡易水道事業	1億7,763万円	2億7,347万円 ▲9,584万円(▲35.0%)
	老人保健	86万円	6,907万円 ▲6,821万円(▲98.8%)
	農業集落排水事業	2億446万円	2億22万円 424万円(2.1%)
	後期高齢者医療事業	6,422万円	6,596万円 ▲174万円(▲2.6%)
国民健康保険病院事業会計	7億9,004万円	7億4,641万円 4,363万円(5.8%)	
合計	91億3,519万円	80億7,407万円	10億6,112万円(13.1%)

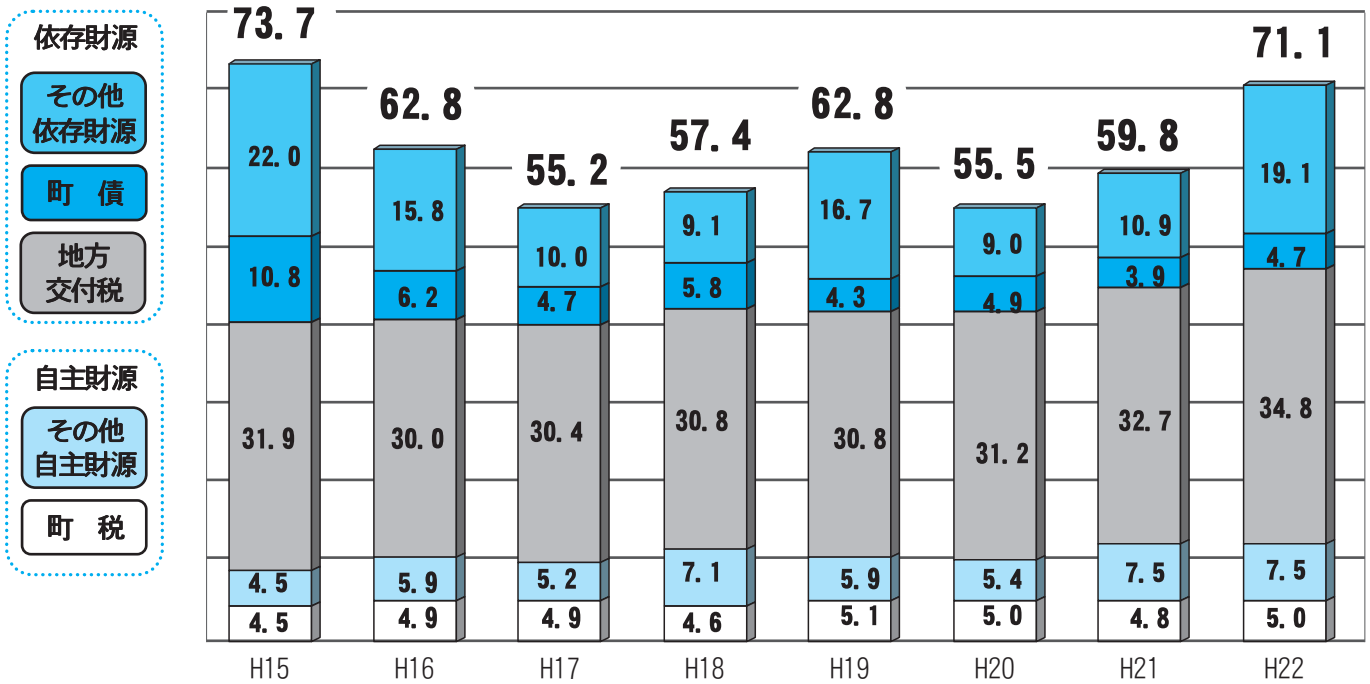


## ■一般会計歳入歳出決算額の推移

平成22年度の町の一般会計決算額は、歳入が71億1,150万円（前年度比11億2,878万円、18.9パーセント増）、歳出が67億7,098万円（前年度比12億1,296万円、21.8パーセント増）となり、歳入歳出差引額は3億4,052万円（前年度比8,418万円、19.8パーセント減）の黒字となっています。

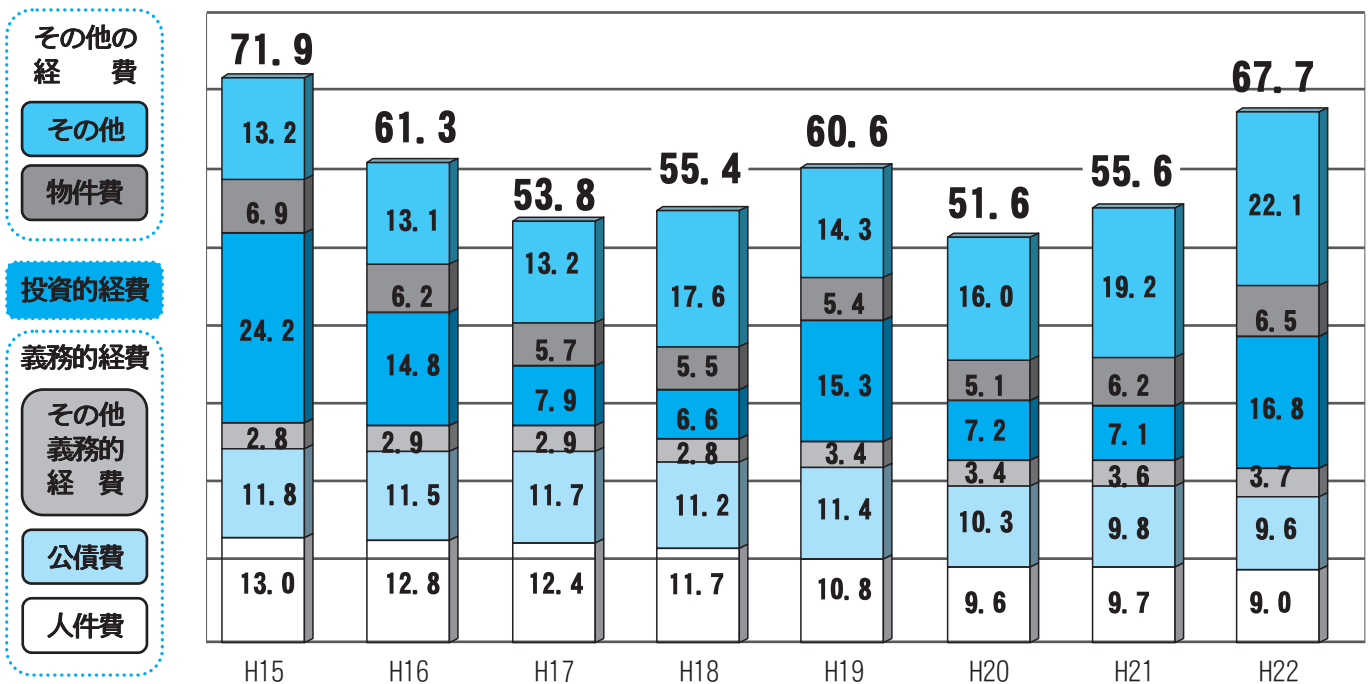
### ●歳入決算額の推移

（単位：億円）



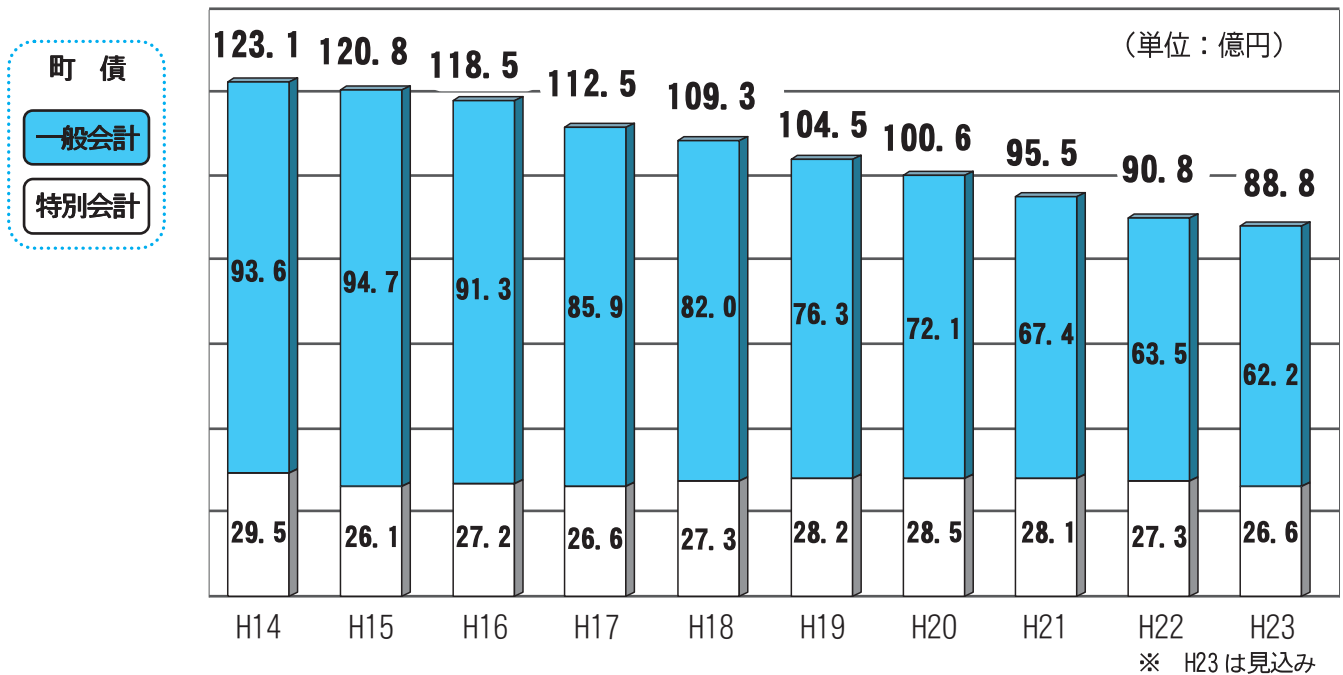
### ●歳出決算額の推移

（単位：億円）



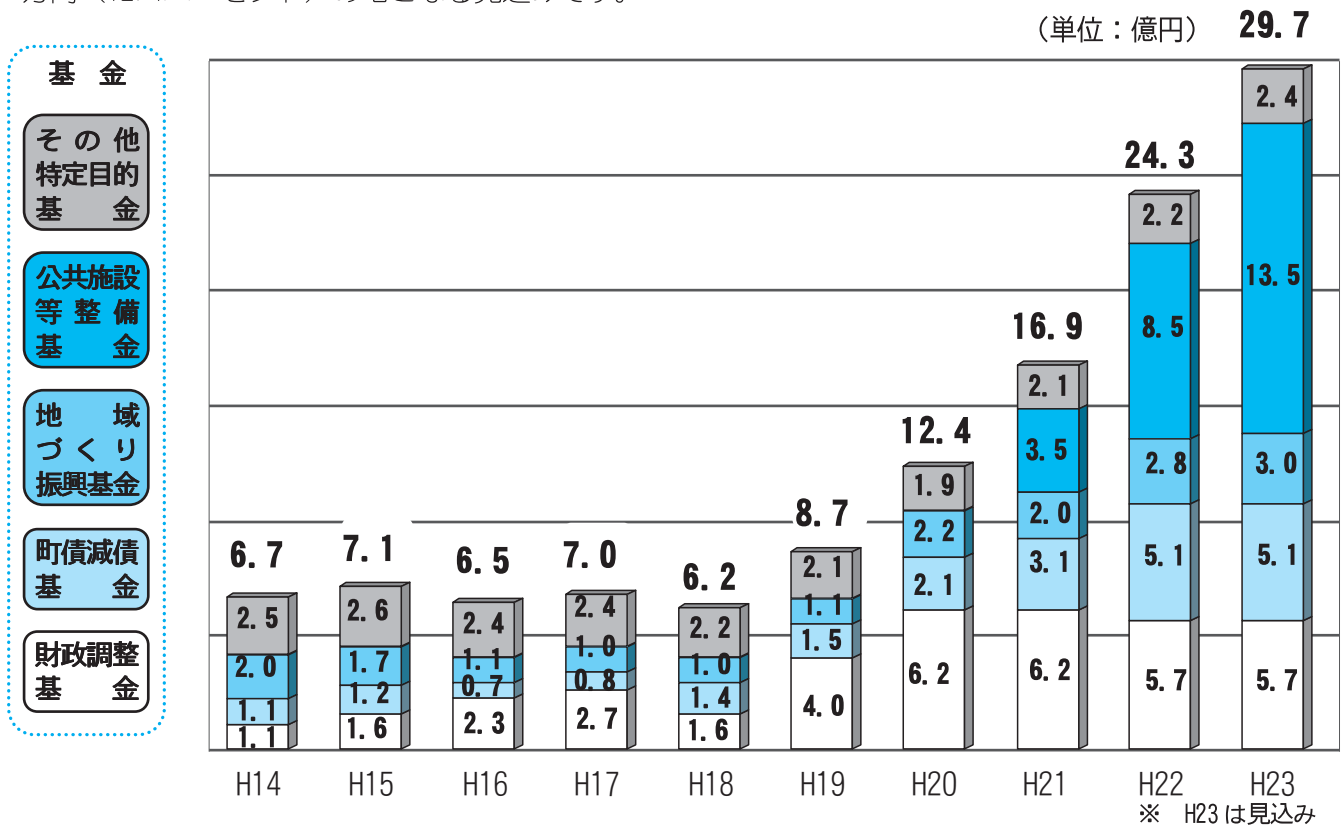
## ■町債現在高の推移

町の借金である町債の平成 23 年度末の現在高総額(見込み)は、一般会計、特別会計を合わせて 88 億 7,771 万円で、前年度に比較して 3 億 3,420 万円 (3.7 パーセント) の減となる見込みです。



## ■基金残高の推移

町の貯金である基金の平成23年度末の残高総額(見込み)は27億2,706万円で、前年度に比較して3億132 万円 (12.4パーセント) の増となる見込みです。





# ■まちの財政の状況

## ●財政指標

	平成22年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差 引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	40.0 %
実質公債費比率	13.1 %	15.3 %	▲ 2.2	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	18.1 %	44.0 %	▲ 25.9	350.0 %	
財政力指数	0.15	0.16	▲ 0.01		
経常収支比率	86.0 %	86.7 %	▲ 0.7		

### ■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の平成22年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

### ■連結実質赤字比率

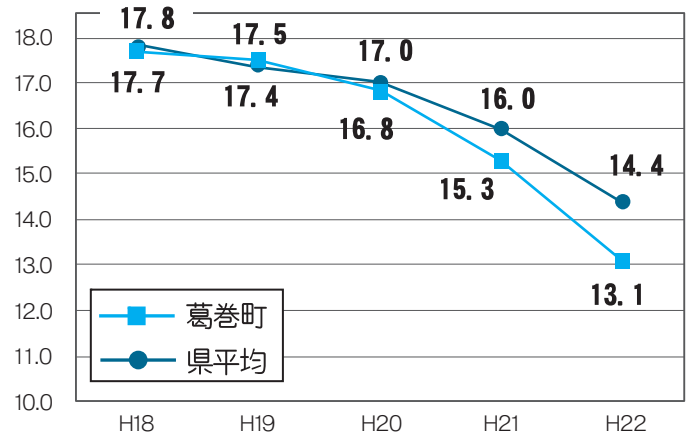
全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の平成22年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

### ■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は25%ですが、18%を超えると起債に対して都道府県からの許可が必要となります。

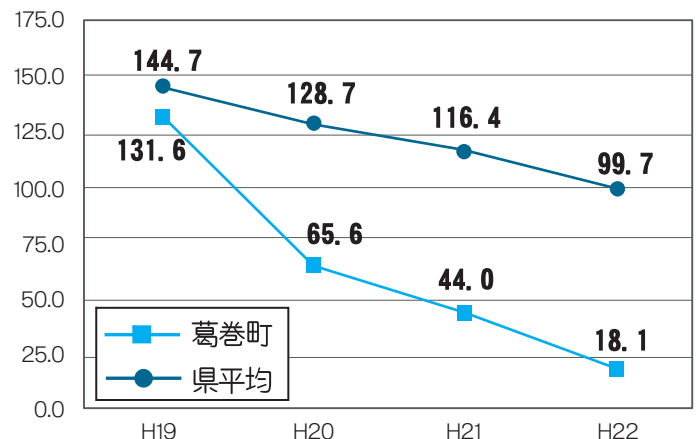
町の平成22年度における実質公債費比率は13.1%で、前年度と比較して2.2ポイント低くなっています。



### ■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の平成22年度における将来負担比率は18.1%で、前年度と比較して25.9ポイント低くなっています。



## ■財政力指数

財政力（※1）の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

※1 財政力 … 基準財政収入額（※2）の基準財政需要額（※3）に対する割合

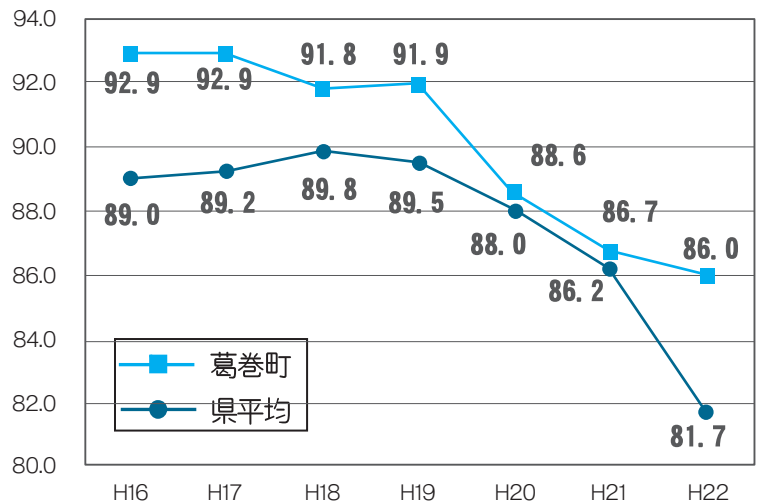
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるのであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要  
町の平成22年度の財政力指数は0.15で、前年度と比較して0.01ポイント低くなっています。

## ■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

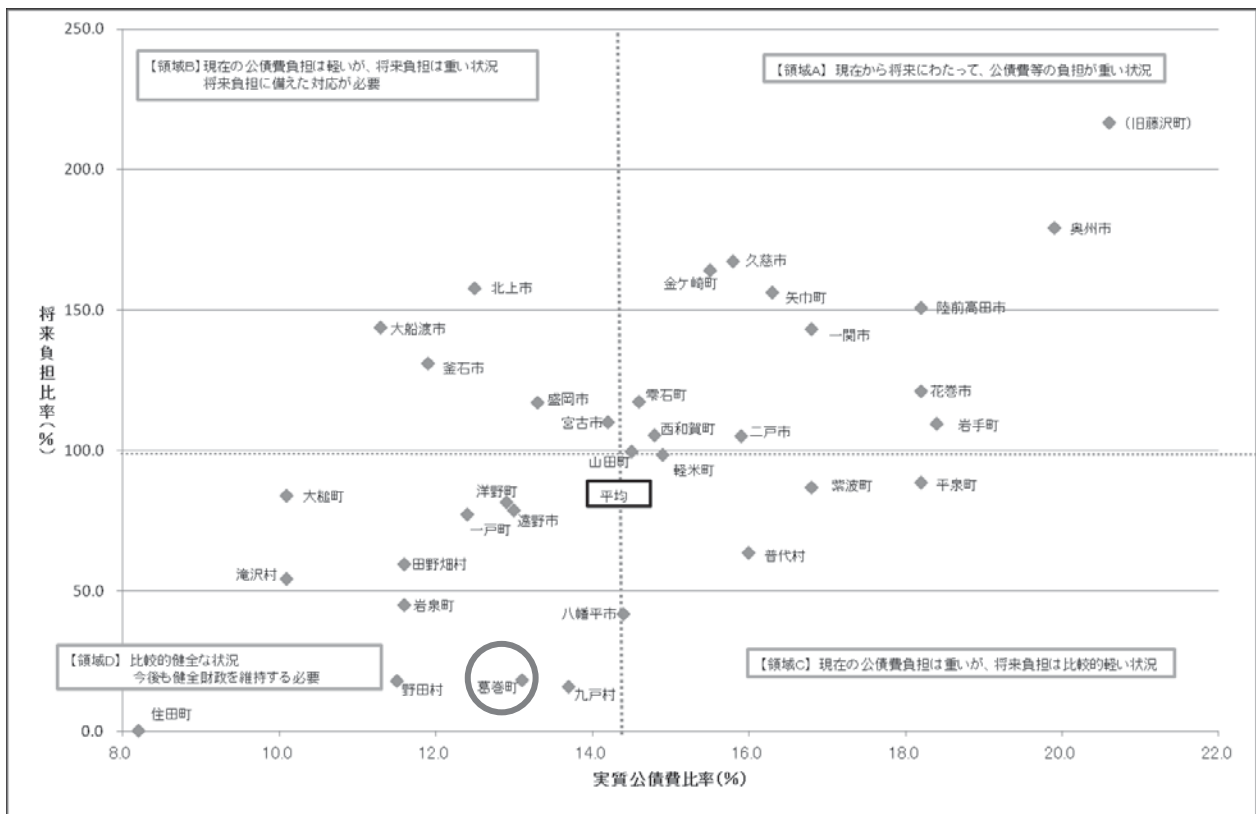
町の平成22年度の経常収支比率は86.0パーセントで、前年度と比較して0.7ポイント低くなっています。



## ●平成22年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、平成22年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

表の左下に位置するほど、より財政運営の健全化が図られていると言えることから、当町は県内市町村の中でも比較的健全な財政状況にあると言えます。



## ■一部事務組合及び第三セクターの状況（平成22年度）

### ●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域行政事務組合	5,618	5,583	35	9
盛岡北部行政事務組合	5,869	5,777	92	85
岩手県市町村総合事務組合	15,817	13,419	2,398	2,398
岩手県自治会館管理組合	70	67	3	3
岩手県後期高齢者医療広域連合	141,385	136,263	5,122	2,603

形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支・・・形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

### ●地方公社・第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町からの 損失補償 債務残高
(社)葛巻町畜産開発公社	10	324	189	1	484
葛巻高原食品加工(株)	1	191	40	-	160
(株)グリーンテージくずまき	▲7	17	20	1	-
エコ・ワールドくずまき風力発電所(株)	▲11	▲173	3	-	-
葛巻町森林組合	5	114	27	-	50

経常損失・・・営業収益及び営業外収益から、営業費用及び営業外費用を控除した額。

損失補償・・・第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと。

# まちの 行政改革 の取り組み

町は、平成18年3月に策定した「第4次行政改革大綱（計画期間：平成17年度～平成21年度）」に基づき、行政運営の効率化と財源不足の解消に取り組んできました。その結果、人件費や公債費などの義務的経費の削減、公共事業の重点化による普通建設事業費などの投資的経費の抑制、消費的性質の経費の見直しによる内部管理経費の削減など、町財政の健全化に大きな効果をあげることができました。

しかしながら、地方交付税の動向、人口減少や社会情勢の悪化による収入の減少、少子高齢化の進行や町民ニーズの多様化による義務的経費の増加、老朽化に伴う公共施設への投資の増加による支出の増加など、今後も厳しい財政状況が見込まれます。

このような中、町では、住民に身近な行政は地方公共団体が行うという地域主権の考え方にに基づき、限られた資源を有効的に活用しながらまちづくりを進めていくとともに、より効果的で効率的な行財政運営を行うため、引き続き行政改革を推進していく必要があります。

このことから、平成21年度末から8回にわたる審議を重ねた行財政審議会からの答申を基に、「①町民との協働によるまちづくりの推進」、「②変革の時代に対応する効率的な行政基盤の確立」、「③自立可能な財政構造の構築」を基本方針として、平成23年3月に「第5次行政改革大綱（計画期間：平成23年度から平成27年度まで）」を策定しました。

## ■第5次行政改革大綱の推進項目

### 1 町民との協働によるまちづくりの推進

#### (1) 情報提供の充実

- ・ 地域情報通信基盤（屋外告知システム、独自テレビ放送）を有効的に活用し、防災情報や町民が必要とする最新の情報の迅速かつ正確な提供に努めます。
- ・ 広報紙、ホームページ及び町民向け予算書などにより行財政情報や各種情報をわかりやすく提供し、町民との情報共有に努めます。

#### (2) 町民参画の充実

町民の意見が幅広く町政に反映されるよう、町政懇談会の継続開催や地域担当職員の積極的な活用により、町民の意見や地域の情報を収集するなど、町民参画の充実に努めます。

#### (3) 町民と行政との協働の推進

少子高齢化の流れや多様化する地域課題への対応を踏まえ、自治会組織をはじめとするコミュニティ団体の活動に対する支援として、補助金制度の拡充や地域の人材育成に対する取り組みの充実など、町民と行政との協働の推進に努めます。

### 2 変革の時代に対応する効率的な行政基盤の確立

#### (1) 組織体制の充実

多様化、複雑化する町民のニーズや地域課題に対し、迅速かつきめ細やかに対応するため、業務内容や業務量に応じて適切な人員配置を行うとともに、担当する分野を越えて相互に連携しながら柔軟に対応できるよう組織体制の充実に努めます。

## (2) 定員管理の適正化

現在の職員数は、これまでに第4次行政改革大綱における数値目標を上回る削減を行い、類似団体より低い水準となっていることから、今後は、職員の退職状況や年齢構成のバランスを勘案しながら計画的に職員を採用するなど適正な定員管理に努めます。

## (3) 職員の資質向上

効果的かつ効率的に事務事業を執行するため、葛巻町職員人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりの意識改革を進めるとともに、まちづくりに対する意欲と能力をもち、町民に信頼される人材の育成に努めます。

## (4) 公共施設の適正配置

- ・ 少子化により児童生徒数が減少している中で、児童生徒一人ひとりの個性や能力を十分に伸ばし、将来を担う人材としての基礎をつくることのできる教育環境を整備するため、学校統合についての説明会やアンケート調査を実施しながら、学校の適正配置に努めます。
- ・ 出生数や職員の退職状況を勘案するとともに、町民のニーズを把握しながら、保育所や児童館の適正配置に努めます。

## (5) 公営企業の経営健全化

- ・ 病院事業、簡易水道事業をはじめとする公営企業の経営は、公立病院改革プランや水道ビジョンに基づく取り組みなどにより成果を上げていますが、今後、町立病院や簡易水道施設の老朽化に伴う整備費の支出が見込まれており、独立採算の観点から、改めて経営の総点検を行うなど、経営の健全化に努めます。
- ・ 農業集落排水事業については、加入率向上のため、各地区での説明会を行うなど集落排水の普及に努めます。

# 3 自立可能な財政構造の構築

## (1) 行政運営経費の節減

職員削減による人件費の削減をはじめとする経常経費の抑制とともに、公共事業の重点化による投資的経費の抑制により行政運営経費の節減が図られてきたところであり、引き続き身の丈にあった行政運営を行い、行政運営経費の節減に努めます。

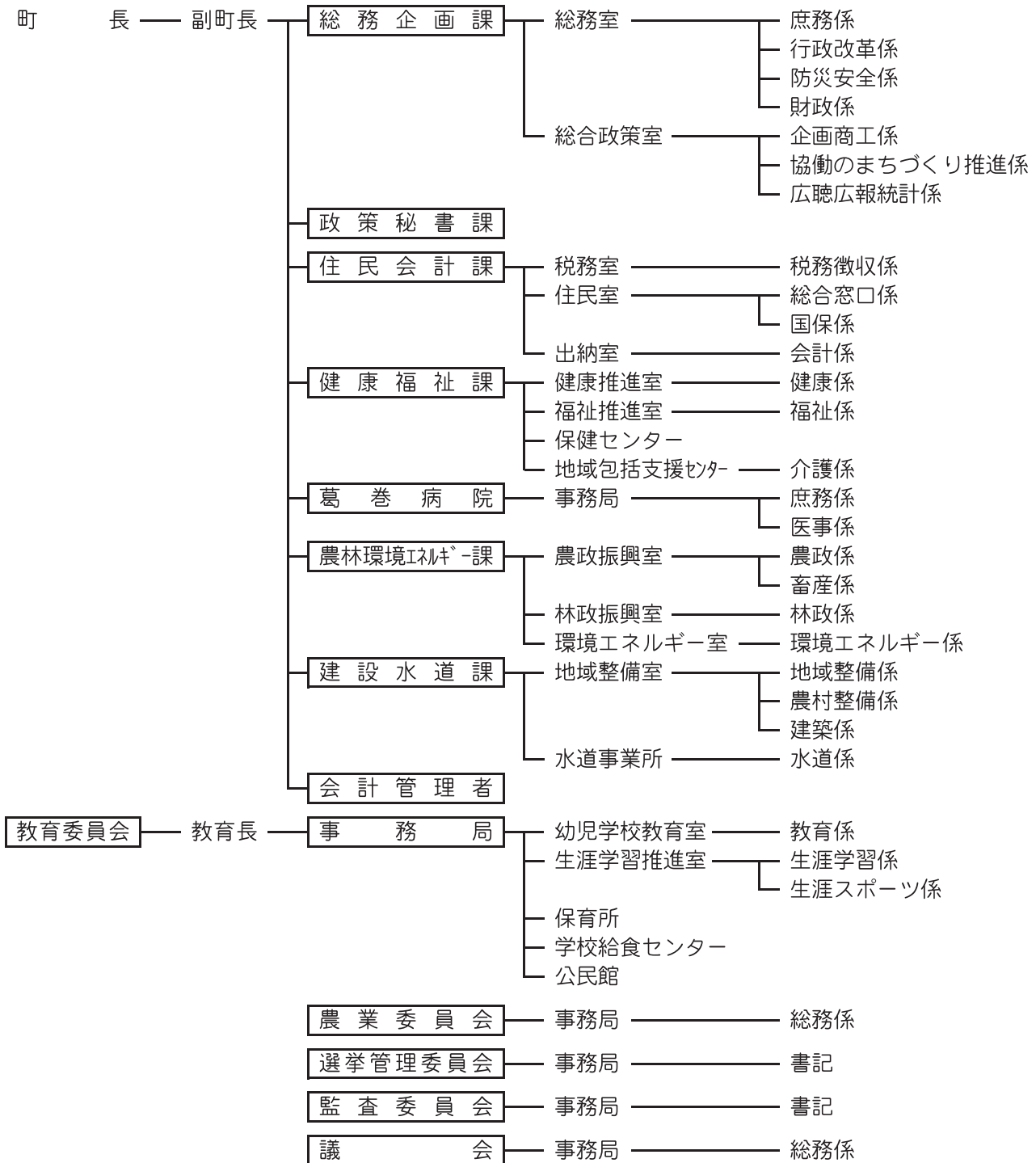
## (2) 安定的な財政運営の推進

町債残高は、着実な償還と借入の抑制により、第4次行政改革大綱における数値目標を上回る削減が行われ、基金残高が増加しているところではありますが、地方交付税の動向を注視するとともに、自主財源の確保に向けた手法を検討実施しながら、財政健全化の目安であるプライマリーバランスの均衡を基本とした安定的な財政運営に努めます。

## (3) 的確な行政サービスの提供

限られた財源を有効的に活用しながら、社会情勢の変化や町民のニーズに対応した行政サービスを提供するとともに、事業の成果を重視した行政運営に転換し、既存事業の継続的な見直しや新たに求められる行政サービスの的確な計画と実施に努めます。

# 平成24年度 まちの 行政組織



# くずまきテレビ

地デジ 11ch

## まちの情報★発信中★

### 平成 23 年 4 月開局から 1 周年

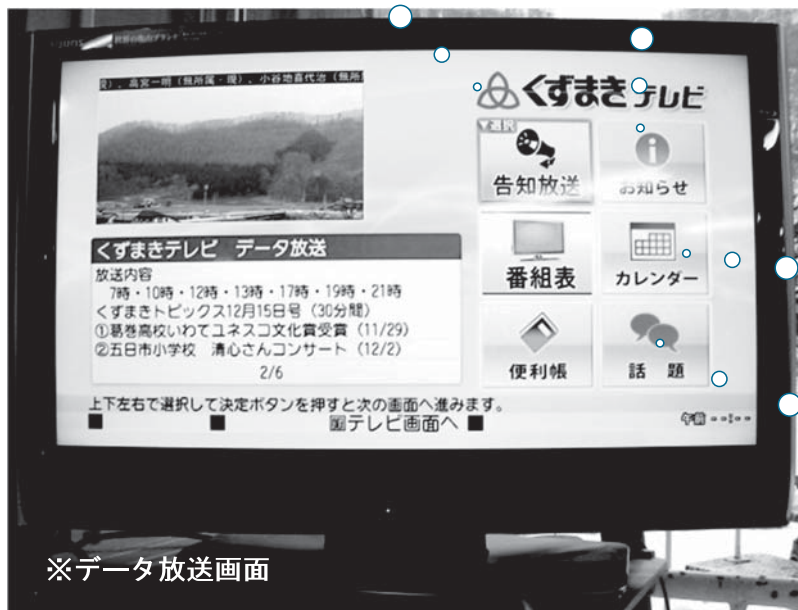
「いつでも」、「見たいときに」、情報を得られる

## くずまきテレビ データ放送

「くずまきテレビ」では、リモコンの「**d**」ボタンを押すことで、データ放送画面に切り替わり、町からの情報を「いつでも」「見たいときに」得ることができます。

告知放送

お知らせ



※データ放送画面



おくやみ

イベント

お知らせします！

# まちの行財政 2012

この予算書に関するご意見、お問い合わせは、葛巻町役場  
総務企画課行政改革係までお気軽にお寄せください。

電話番号 0195-66-2111 (内線 214)

ホームページ <http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>

※ この冊子の印刷費は、1冊当たり 115円です。

